



# What's happening?

## 日本での留学生活、私の人生の宝



大学院先端技術科学教育部 博士後期課程1年

潘哲 ハン テツ [中華人民共和国]

九州への研究室ゼミ旅行 [2007年9月]



あっという間で、日本で4年半の留学生活を送りました。4年半と言えば、私の今までの人生の5分の1です。一人っ子の私は中国で皿を洗うさえあまりしなかったが、日本に来て勉強しながら、アルバイトで生活を送っています。中国での生活と日本での生活と、どちらが辛いというと、日本です。しかし、「日本での留学生活はどう?」と聞かれるなら、「私の人生の宝だ」と答えます。

宝の1つめは、独立で考え、どんな困難でも乗り越える能力を得ることです。たくさん留学生も同感だと思います。言葉まったく違う国で生活するのは沢山辛いことがあります、しかし、この困難でも打ち勝てるなら、どんな問題でも怖くなくなります。

宝の2つめは、日本に来て日本語を話せるようになって、異文化をふれ合い、日本人の考え方を理解できることです。2つ言葉を話せるなら、2つの人生が得られるところは私が納得しました。日中は一衣帯水の隣国ですが、人の考えは大変違います。日本人は毎日の元気な挨拶を大切にします、外で何か活動したら、最

後までちゃんと片付けをします。また、サラリーマン達は遅くても仕事同士と一緒に酒を飲みに行く場合は少なくないです。中国人では、人と人の付き合いは挨拶より義理を大切にします。例えば、友達と一緒に食事をするなら、食事代を割り勘するのではなく誰か全部を払います。時々友達を家で招待します。恩を貰ったら10倍に返すので、お礼を申し上げるなら値段は高いものが良いです。しかし、中国人は自分の物を大事にするが、共有物を大切に意識がまた薄いです。また、中国人も食事でコミュニケーションをとるのが好きですが、サラリーマンでも夜食は7時ごろにするのは多いです。

宝の3つめは私の人生観?世界観を変ったことです。専門知識を勉強して将来に良い仕事を見つけるのは私来日の最も重要な目的でした。しかし来日以来、世界の人々と付き合うことにきっかけで、私はこの大きな世界で何のために生きていくのかを日々考えています。自分だけ良い生活ができるより、社会に貢献できるのは何よりも幸せなことだと悟りました。

留学生活は後1年半に終わります。ここでは、私に貴重な留学機会を頂いた徳島大学、また沢山お世話になった佐野先生と現在専門知識を教えて頂いている山中先生に心よりお礼を申し上げたいと思います。



美馬市での花見 [2008年4月]



上海で道路調査を行った時 [2007年7月]



阿波踊りにて [2008年8月]